



凌雲台

龍野小学校 学校便り

<No.6> H30. 9. 28
文責: 校長 江上 知男



がんばりました！ 甲佐町陸上記録会

9月26日(水)に、甲佐小学校にて町陸上記録会が開催され、本校からも5・6年生が参加しました。幸い天候にも恵まれ、絶好のコンディションになりました。

子どもたちには、記録会前に2つのことを話しました。

- ① 記録会の目標は「自己記録の更新」であり。順位ではなく全力発揮することが大事なこと。
- ② 龍野小代表として、「自分で考えて」「相手のことを考えて」きちんとした態度で参加すること。

子どもたちは、途中であきらめることなく、最後の最後まで全力を尽くして競技に参加していました。また、100m走があつてある間は、大きな声で応援し、友達を勇気づけていました。一生懸命な子どもたちの姿は、観ていてとても気持ちの良いものでした。各種目、甲佐町で3位以内に入った選手は、上益城郡陸上記録会(10月27日・嘉島町)への出場権を得ました。さらに良い経験ができると思います。

毎日練習をご指導いただいた福井果林さん(2年多生さんのお母さん)、本当にありがとうございました。

また、今回の記録会直前に「ハチマキが足りない」ということになりました。市下コーディネーターに相談したところ、桑原成子さん(下横田)が、3日間で30本以上のハチマキを縫ってくださいました。写真のとおり全員が一度にハチマキをつけることができました。本当にありがとうございました。お二人に心から感謝です。

「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」

私の恩師から紹介いただいた本のタイトルです。著者はアメリカの作家ロバート・フルカムという人で「人間、どう生きるか、どのようにふるまい、どんな気持ちで日々を送ればいいか、本当に知っているなければならないことを、わたしは全部残らず幼稚園で教わった。人生の知恵は……幼稚園の砂場に埋まっていたのである。」と自分の人生を回想しています。

もちろん、この本の著者は「人生には砂場遊びが大切です」と伝えたいわけではありません。

著者は、大人になって人生を振り返っているうちに「充実した人生を送るために必要なことは、全て子ども時代に教わったことで、しかも決して難しいことではない」ということに思い当たるのです。

例えば、「何でも皆で共有し、するをせず、人を叩かず、使ったものは片付け、人のものは使わないこと、誰かを傷つけたら謝ること」などは、幼少期に子どもが教えられることですよね。でも、これは大人になっても人間関係の基本です。このルールさえ守れば、平等な社会の実現にもつながります。

また、「少しずついろんなことをしてバランスの取れた生活をすること」などは、幼少期によく気を配られますが、実は大人になっても、心身ともに健全な生活を送る上では大事なことです。

「充実した人生を送るためにには、子ども時代に教えられたことがカギです。今一度、それを思い出して、生涯大切にすべき知恵として心に留めておきましょう」というのが、この本の伝えたいことです。



さて、3人の子どもを育てた…育てている父親である私は、ふと不安になりました。それは、自分の子どもに「充実した人生を送るために必要なこと」をきちんと教えたのか…!? お恥ずかしながら、自信がありません。その答えが出るのにはもう少し時間がかかりそうですが、もし、「のことだけは教えとかなければ、社会人になって困る」と気付いたら、「もう手遅れ」とあきらめずに、今からでも教えていこうと思います。

